

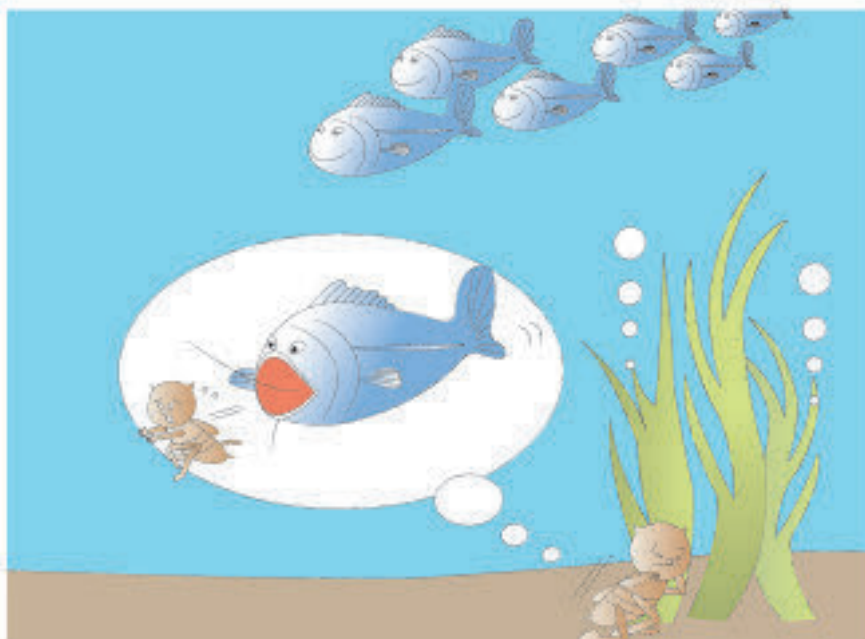
空をとべた アイトトンボ

〔低学年〕

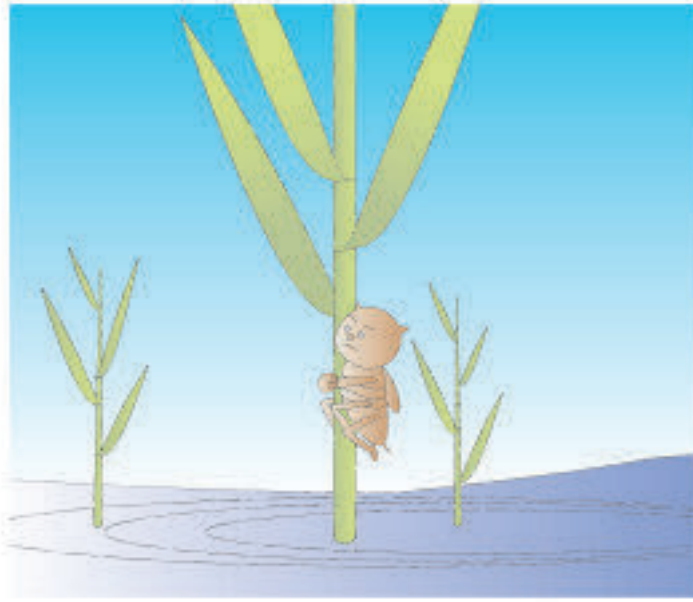
今年も、香川県のある池に アイトトンボが
とびはじめました。青く小さなからだで 気もちよ
さそうに 池のまわりを とんでいきます。

春。たまごからかえった アオちゃんは、小さな
小さな アイトトンボのヤゴです。池の中には、
ヤゴを食べようとしている魚がたくさんいます。

「こわいよう。みんなどこにいるのかな。」
アオちゃんは、たった一人で 見つからないよう
にかくれました。



つゆ。大雨がつづきました。くらい池の中で、アオちゃんは、じつとがまんしています。そして、ながい雨のあと、アオちゃんは、大人になるための 場しよをさがしています。しかし、いくらさがしても、ぴったりのかきが見つかりません。強くて長い あしの草が、なくなっているのです。



「どうしよう。このままじゃ

とんぼになれないよう。」

アオちゃんは、なん日もかけて 池のあちらこちらをさがしました。そして、ようやく見つけた 一本のくきに はい上がり、さいごの力を ふりしぼりました。とんぼになるのです。ヤゴのからをぬいだアオちゃんは、今までとは ちがいます。くしゃくしゃだったはねは、しだいにのびて広がり、うつくしい



アオイトトンボに　へんしんしていきました。

そして、夏なつ。小さなアオちゃんのからだに　太たいよ
うの光ひかりが、ぎらぎらと　てりつけます。

「あついよう。からだがやけそうだ。」

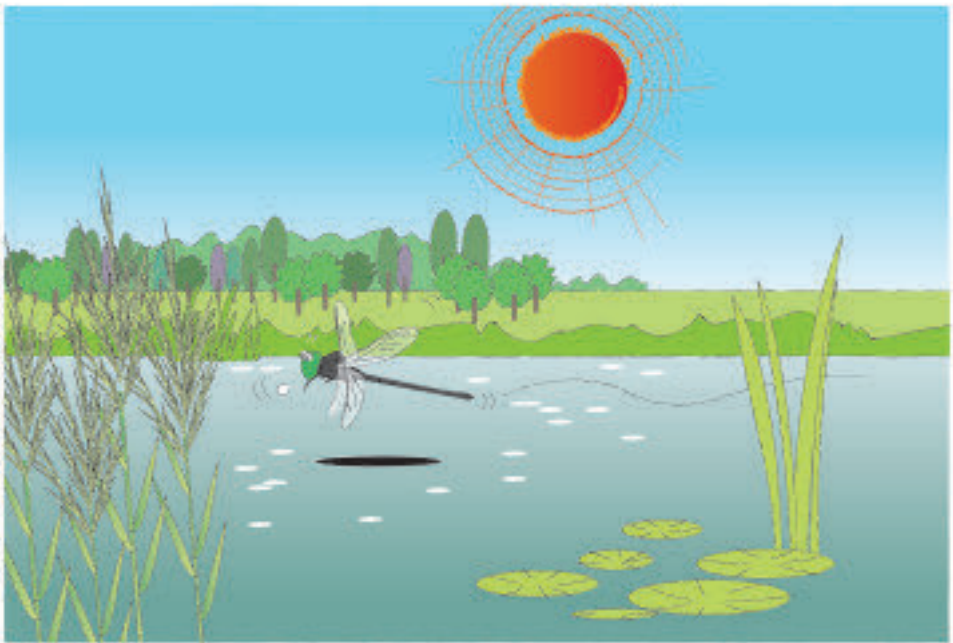
アオちゃんは、ふらふらしながら、林はやしをさがしまし
た。

「早はやく、すずしくて　てきからかくれられる　林はやしを

見みつけなくちゃ。」

けれども、林はやしはなかなか見みつかりません。やっとの
ことで、池いけのむこうにある小ちいさな林はやしを見みつけました。

秋あきまで　あつ少しすこの　しんぼうです。



「コバネアオイトトンボ」



コバネアオイトトンボは、大きさやく3センチメートル。金緑色をしたトンボです。全国で数がたいへん少なくなっているめずらしいトンボです。香川県でも、2か所のところで生きていますが、その場しよでも、どんどん数がへって、いなくなるものがしんぱいされています。

「コバネアオイトトンボ」の生長に適したため池



コバネアオイトトンボは、ため池をコンクリートで改修することで卵を産むのが可能なカンガレイなどの水生植物が少なくなり、繁殖が困難になったといわれています。

写真は、水生植物が生育し、コバネアオイトトンボの生長に適したため池。

まちにまった 秋がやってきました。アオちゃんは、うれしそうに なかまをさがして 林や池をとびまわります。アオちゃんのはねは、太よの光をあびて、きらきらかがやいています。

らい年もまた、この池には、新しいのちが生まれることでしょう。

